

## 第4節 地球温暖化防止の取り組み —美しい地球を後世に—

このまま地球温暖化が進行すると、わが国でも農業や漁業などに深刻な影響が現れるなど、私たちの生活そのものにも影響が及ぶことが懸念されています。

気候変動に関する国際的な評価機関であるIPCCの報告によると、過去100年間で世界の平均気温が0.74℃上昇し、最近50年間の気温上昇傾向は、過去100年間の2倍の速度であることがわかっており、人類の活動に起因する地球温暖化が急速に加速しています。

私たちは、生活や経済活動において、エネルギーを使用し、ごみを排出する等、地球温暖化の要因である『温室効果ガス』を大量に排出しています。20年からは、京都議定書の第一約束期間が始まり、私たちも緊急に生活の中で資源・エネルギーの無駄使いを排除し、再利用やリサイクルを推進していく必要があります。

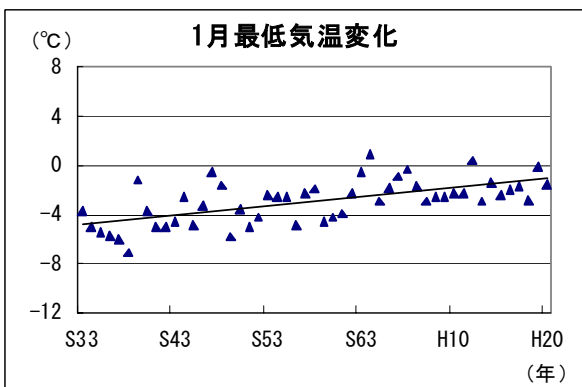
本市においても、自ら率先して環境配慮活動を行うとともに、市民、事業者が積極的に取り組めるように支援を行っていきます。

### 1. 八王子における温暖化現象

#### (1) 最低気温と桜の開花状況

地球規模での温暖化の影響と思われる現象は、私たちの身近にも現れています。

年々、冬の最低気温は上昇傾向にあり、桜の開花時期も早まってきています。20年は、桜（ソメイヨシノ）の開花が平年より7日早い3月25日でした。



## 2. 地球温暖化対策の具体的な取り組み

### (1) 市施設での取り組み

庁舎内空調温度設定の省エネルギーの徹底や夏季・冬季の「省エネキャンペーン」を通じて、来庁者への協力もお願いしています。

北野町のあったかホールでは、6月に環境省の呼びかけで実施されたCO<sub>2</sub>削減ライトダウンキャンペーン「ブラックイルミネーション2008」にも参加し、2時間のライトダウンを行いました。

清掃事業においては、20年度はハイブリッド車を新たに11台導入しました。現在ハイブリッド車は14台となり、市内3つの事業所で収集作業を行っています。

このハイブリッド車は、ディーゼルエンジンと電気式モーターを動力源としているため、排気ガス中の窒素酸化物(NO<sub>x</sub>)や粒子状物質(PM)を低減する低公害効果だけではなく、特に地球温暖化の抑制という観点で、温室効果ガスであるCO<sub>2</sub>の低減効果が優れています。



ハイブリッドの清掃車

### (2) 「省エネ技術研修会」実施と「環境マネジメントシステム」導入支援

市では、市内の中小規模事業者に対し、省エネルギーへの取り組みを推進していくための支援を行っています。

都と市及び東京都地球温暖化対策推進ネットワークが連携して開催した「省エネルギー技術研修会」では、中小規模事業者の経営者を対象に設備改修などのコストをかけずに実施できる省エネルギー対策に関する普及啓発を行いました。

20年度は、19年度の16社を大きく上回る31社の事業者の方に参加していただき、参加者からは、「大変参考になった」という声を多くいただきました。

また、事業活動による環境負荷の低減を図りながら、経営を自己管理する仕組みを構築するツールとして、環境省が策定した環境マネジメントシステム「エコアクション21」の認証取得について支援を行いました。

環境マネジメントシステムの国際規格である「ISO14001」の考え方を基本としながらも経費や労力の面で中小規模事業者でも取り組みやすく、なおかつ環境配慮と経費削減も期待できるのが特徴です。



イニシアティブプログラムでのグループワーク

市は、事業活動における環境配慮に取り組む市内事業者の増加を目指すため、エコアクション21認証取得の支援策として「八王子市イニシアティブプログラム」(無料による勉強会)と「アドバイザー派遣制度」(市が派遣費用の1/2を補助)を実施しています。

これまでに、このプログラム及びアドバイザー派遣制度を利用した事業者のうち、16社がエコアクション21を認証取得しています。

市としては、今後も環境経営の視点を持つ事業者とともに、環境自治体づくりを行っていきます。

※ここに掲載した取り組みのほか、第2章の「特色ある取り組み」(P8~)にも具体的な取り組みを掲載しています。